

BlueRetro

Wireless Controller Adapter for Nintendo Gamecube Adapter 簡易マニュアル

この周辺機器は簡単に言えばゲームキューブに Bluetooth 規格のコントローラを接続するためのアダプターという事になる。

が、接続方法としては本当に単純。しかも商品に付属しているマニュアルの出来が海外物の商品なのにいたせりつくせりで別途マニュアルなど必要なのか？と思われてしまうほどのものだった。

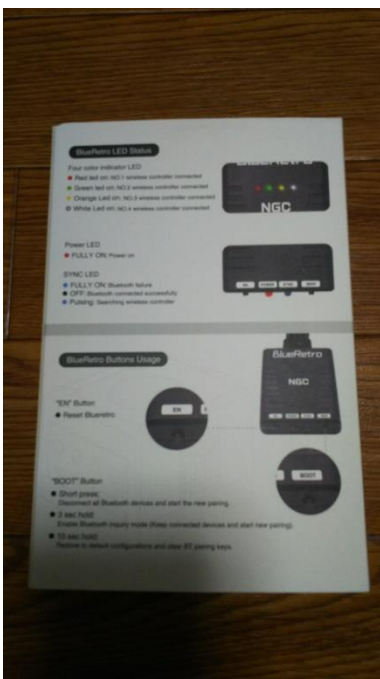
そこで、開封の儀、使用方法、ゲームキューブ互換機能を持つ Wii との接続についてという流れで説明していきたいと思う。

◎開封の儀



①商品外箱(表)

思っていたよりもコンパクトに収納されている。



②商品外箱(裏)

ただでさえ分かりやすいマニュアルが付いているのに本体インジケータ(LED)及び本体についているボタンについての説明が書かれている。



③外箱及び内容物

必要且つ最低限の商品編成
外箱・内箱・商品本体・説明書



④内容物拡大

商品本体及び説明書

以上、開封の儀でした。

◎使用方法

と言っても、コレも非常に単純でゲームキューブの4つのコントローラー端子接続部に1コンから順に赤・緑・黄色・白とコネクタを差し込むのみ



①写真のようにコネクタを差し込む



② 必要ないと思われるが拡大写真



③で、本体の電源を入れる。

と、アダプタ本体に通電し赤のパワー表示 LED 常時点灯、青のシンクロ表示 LED 点滅している状態となる。この状態がコントローラーからの同期操作となる。

この状態で、説明書9ページ以降に英語表記ではあるが非常に分かりやすい各種コントローラーごとの接続方法が記されている。どのコントローラーも初回接続の認識方法は複数ボタンの操作が必要のようだが2回目以降はホームボタン等単純な操作で接続可能となるようである。

(当方、現行機種を持ち合わせていないこと、PS3はあるのだがコントローラーの充電電池が切れており設定及び実際の接続作業は行えなかった。)

※PS3 の接続設定を行うと実際の PS3 での使用ができなくなる可能性がある旨ネット上では記載されているページもあったので余っている物等の利用が好ましいと思われます(あくまで自己責任で)。

④各種ボタンの説明

上記写真の左側の「EN」ボタン、これが所謂 RESET ボタンにあたるボタンで一度コントローラー接続状態を解除する際に使うボタン。別のコントローラーを認識し直す等の際に使います。

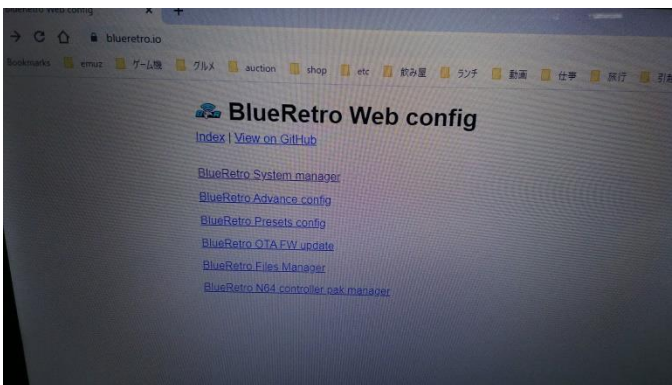
次に右側の「BOOT」ボタン、これは2台目以降のコントローラーを認識させる際に3秒間押し続けることで同期待ち状態となります。1台目認識させて「BOOT」ボタンを押して2台目、2台目を認識させて「BOOT」ボタンを3秒押しして・・・というように繰り返すことで最大4台のコントローラー認識させることが出来ます。更にこの「BOOT」ボタンを10秒間押すことで上記初回設定等を行ったコントローラーの接続情報を消去して初期状態にすることが出来るようです。初回設定は面倒なので誤って初期状態にしてしまうことが無いよう注意が必要です。



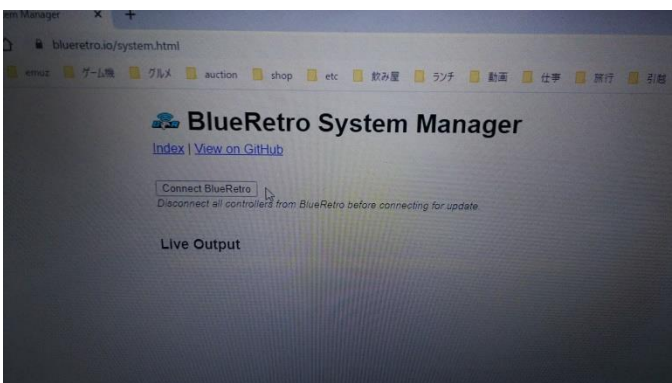
- ⑤本体右側面設置の Type-C 端子
本体 Firm アップデートを行う際や上記
PS3 用コントローラーを使用可能にする
際に使用します。

本体アップデート:<https://github.com/RetroScaler/NGC-BlueRetro/releases/tag/blueretro>
説明書 27 ページに載っているが上記サイトにて更新プログラムをダウンロードして行います。
サイトにて「ngcblueretro.v1.0.7z」というデータをダウンロードして解凍すると説明書の2つデータが
表示されます。ただし、プログラムの名前を見ると Windows の 64bit 版用のものになるようですので
32bit 版 OS を使用している方は利用できないようです(当方は 32bit 版なのでこれ以上は試せま
せませんでした…)

PS3 用コントローラー初回ペアリング:<https://sixaxispairtool.en.lo4d.com/windows>
まずは上記サイトにて Sixaxis Pair Tool をダウンロードします。
次に上記本体 Type-C 端子を利用してパソコン (Bluetooth 機能が使える必要あり) に接続します。
次に <https://blueretro.io/> のサイトへ移動。



で、BlueRetro System Manager を選択し



この画面へ移動し「Connect BlueRetro」をクリックしパソコン側からアダプタ本体をうまく認識すると
説明書 23 ページの画面表示がせるので赤線で囲まれている部分の MAC アドレスをメモする。

次に PS3 コントローラーをパソコンと USB 接続し、先にダウンロードしておいた Sixaxis Pair Tool を起動(説明書 24 ページ)。で、先に控えた MAC アドレスを「Change Master:」の入力し Update をクリックし PS3 用コントローラーの MAC アドレスを上書きし設定終了。この作業を行ったうえで説明書 25 ページに従って同期待ち状態のときにコントローラーホームボタンを押して同期させれば使用可能となる模様です(当方の PS3 コントローラー充電切れのため実証試験は出来てません)。

※当説明書で先にも記載しましたがこの作業を行うと PS3 用のコントローラーとしては使えなくなることもあり得るという情報をネット上で目にしましたのであくまで自己責任で作業を行ってください。



⑥今回、当方で接続を行った環境

今回の試験環境は上の写真のものを使用。他、ノーブランドのものと PS3 のものも準備はあったのですが前述の通りどちらも充電切れで実際に試験できたのは上の 2 機種のみ(両方とも 8bitdo ブランド)でした。

で、結果としては白い小型のものは Firm アップデート等ないもので購入時のままでの試験だったがうまく接続出来る時もあれば出来ない時もある感じで、その具体的な違いが何で確実な接続方法はどのようなものなのかというところに至る事は出来ませんでした。

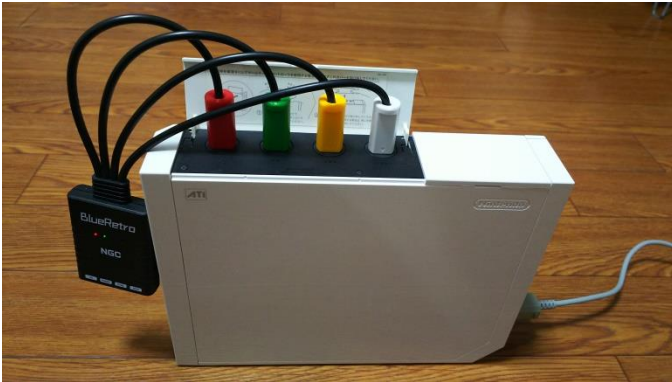
また、ファミコンタイプのものかなり昔に Firm アップデートしたままの状態で行ったときには全く接続することが出来ずかなり焦りましたが、説明書に載っている 8bitdo のサポートページよりアプリをダウンロードして Firm アップデートを行ってからはスムーズな接続を行える状態となりました。

(一応サポートページのアドレス:<https://support.8bitdo.com/firmware-updater.html>)

⇒ 結論としては古いタイプの Bluetooth 接続のコントローラーは使えないと思ったほうが良く、説明書に記載のある現行機種のもの及び最新 Firm アップデートを施した 8bitdo ブランドのコントローラーを準備したほうが良いと思います。

◎Wii との接続について

今回のアダプタがゲームキューブ用という事でその互換機である Wii に使用できるのか？という事を検証しました。



① 本体上部ふたを開けゲームキューブ用コントローラー接続端子にゲームキューブと同様に赤・緑・黄色・白の順にアダプタを接続。

② ゲームキューブと同様に同期待ち状態となるのでコントローラーを操作して同期作業を実施。

⇒ 特段の問題なくコントローラー認識しました。

2 台目のコントローラーの認識もゲームキューブ同様に操作することで同期確認できました。

◎総評

ゲームキューブ用コントローラーはオークション等でもかなり高価となっていますし、アナログスティックを備えていることから動作不良を起こすことも多く見られますのでこのアダプタは非常に有益かと思います。また、ゲームキューブ互換機能を持つ Wii での使用も可能なことから経年劣化の進むゲームキューブ本体にこだわりさえなければ、まだ安価で潤沢に手に入れられる Wii でゲームキューブのソフト資産を現行機種のコントローラーで利用可能となることはさらに有益なアイテムと言えると思います。